

# 設置形態を越えた三大学が連携する「教養教育共同化」の取組は全国初!

文部科学省  
大学間連携共同教育推進事業

## 京都三大学教養教育研究・推進機構

京都工芸繊維大学(国立)  
京都府立大学(公立)  
京都府立医科大学(公立)

### 共同化の趣旨

三大学は、それぞれ100年を超える歴史を持ち、国内外で活躍する有為な人材を多く輩出してきましたが、変化の激しい今日にあって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、次の3点をねらいとして取り組みます。

- ①三大学は個々には規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供しあい、学生の科目選択の幅を広げ、学習意欲を一層高めること
- ②文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を創り出すこと
- ③学生間での交流や討論、共同学修が進むよう学生参画型の授業を広げていくこと

### 教育の目標

グローバル化や少子高齢化の進展など課題が山積する中で、多様な事象に関心を持ち、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性を持つ人材の育成を目指して次の3点から取組を進めます。

A 人文・社会・自然の諸分野の学術体系を俯瞰しながらこれらの基礎を幅広く学習し、学術への高い関心を育てる

B 世界の人々の多様な生き方を感じ、人としての豊かな感性や倫理観を拡張する

C 日々社会に生じる種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟する

### 学生シンポジウム

#### 「人・サル・植物の関係から知の源流と未来を探る」

##### ○学生達の姿勢を受身から共創へと一緒に脱皮させます

学生達の姿勢を受身から共創へと一緒に脱皮させることを目標に、学生主体によるシンポジウムを企画しました。三大学の学生が夏休み期間中に課題の探索を行い、その成果をシンポジウムで発表しました。シンポジウムを学生教育の場として位置づけ、その成果を社会に向けて発信しました。

##### ○「人ーサルー植物の相互関係」について調べ考ることで「知の源流」に迫りました

「人ーサルー植物の相互関係」について調べることで「知の源流」に迫るとともに「知の未来」を描き出すことを目指しました。三大学の学生が混在するように4つのグループに分け、予備調査とグループ・ディスカッションを行いました。

##### ○三大学の学生による研究発表

- (1)「触れているようで触れられている!?-植物の生存戦略」
- (2)「味覚から考える食への工夫-サル、ヒト、植物とおいしさ」
- (3)「Hand in hand 一協調性を考える」
- (4)「高山における環境の変化と適応の連鎖-比叡山を通してヴィルンガ山地の未来を考える」

##### ○教養教育の学びの場をキャンパス外にも拡げました

京都府立植物園、京都市立動物園、京都大学博物館、比叡山延暦寺などを度々訪れました。ゲストコーディネーターを引き受け下さった山極壽一先生(京都大学総長)、松谷茂先生(京都府立植物園名誉園長)はじめとする専門家の意見を仰ぎつつ、熱心に探求活動に取り組みました。

### 教養教育共同化施設「稻盛記念会館」



豊富な教養教育科目が提供できる施設(200人規模を最大に17教室)や自習室などの豊かな学術空間が創出されるとともに、府民の皆さまも御利用いただけるレストランが整備されています。この施設の建設には、稻盛和夫様(京セラ株式会社名誉会長)から多額の御寄附をいただきました。

### 京都三大学の立地関係

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学とともに、京都の下鴨神社を取り囲むような形で位置しています。

それぞれの最寄駅は京都市営地下鉄烏丸線にあり、京都工芸繊維大学が松ヶ崎駅、京都府立大学が北山駅、京都府立医科大学が丸太町駅です。

三大学ともに距離も近く、相互の行き来が十分可能です。

三大学の学生が学ぶ「教養教育共同化施設「稻盛記念会館」」は、北山駅徒歩3分の京都府立大学の敷地内にあります。



### 共同化科目を受講した学生の皆さんのお声



京都府立医科大学  
森田 輝さん



京都府立大学  
小野 大樹さん



京都工芸繊維大学  
下出 大貴さん

三大学共同の教養教育では、学びたくても自分の大学では触れることのできない分野の内容を学べました。自分の大学で提供されていない科目を学ぶことができたのは教養教育共同化のおかげだと思っています。また、他の大学の学生と一緒に授業を受けることで、他の大学ではどのようなことを学んでいるのかを垣間見ることができます。自分と他の大学の学生の違いを感じて、自分の学生生活を客観的に見ることができたと思うよなよなと思います。

最初のうちは化学式や化学反応などの科学を勉強してこなかった身には分かりにくいことが多かったですが、製品や材料の性質を学ぶうちに理解できるようにならました。また、最後の発表に向けての準備では、質問に答えられる知識を身につけておるので、単語一つ一つに対しても積極的に答える姿勢が身についたように思っています。自分の専攻分野とは全く違った分野についての知識が得られるとともに、調査に対する基本的な姿勢も身についた非常に有益なゼミだったと感じています。

# — 交流しながら学ぶ新しい学修空間を創出 — 教養教育の大学間連携から生まれた学生交流

### Q. 教養教育共同化はどのように行われるのですか

A. 三大学の学生が一堂に会して学べるよう、新たに京都府立大学の敷地内に教養教育共同化施設「稻盛記念会館」が京都府によって整備され、平成26年9月に竣工しました。この施設が各大学から提供された科目の授業が行われ、三大学の学生の皆さんが混在して一緒に学んでいます。

### Q. 共同化カリキュラムにはどのような特長がありますか

A. 各大学からその強みと特徴を生かした科目が提供されているほか、学生同士が交流し、共通のテーマで対話し議論する力を育むリベラルアーツ・ゼミナールや、京都という地の地域的、歴史的、文化的特色を生かした12科目の「京都学科目」が特色です。また、平成27年度から2回生や3回生以上を対象とする高度教養教育科目も設置しています。

### Q. 共同化科目の授業はどのように行われるのですか

A. 三大学の学生と一緒に学べるようにするために三大学の学年をそろえ、月曜午後の3つの時限に共通の時間割を作成し、集中して共同化科目を提供しています。なお、一部の科目は夏期、冬期等に集中して開講します。学生は所属大学で履修の登録を行い、抽選など必要な調整を行った後、所属大学から履修の決定をお知らせします。

### Q. 共同化科目の単位はどのように扱われるのですか

A. 三大学から提供された「共同化科目」は、学生が所属する各大学において、自大学の科目として単位認定を行います。「単位互換科目」については単位認定の際に上限がありますが、「共同化科目」については自大学の科目と同じ扱いになります。この点が他の大学間連携事業との大きな違いです。



### 取組の成果を「京都モデル」として全国の大学へ発信

国公私立の設置形態を超え、大学間の相互連携を推進する平成24年度からの文部科学省の事業です。この事業を活用して「京都三大学教養教育研究・推進機構」を設置し、教養教育共同化の取組みを推進しています。事業が終了する平成28年度には取組みの成果を「京都モデル」として全国の大学に発信します。

### 京都三大学共同化教養教育のカリキュラム

平成28年度は、下記の74科目を開講します。

A. 幅広い知識の修得、B. 多様な人間世界の事象に触れて生き方を感受し思考する、C. 理真と正義に係る多面的な議論に習熟する—各科目が、A.B.C.のどの性格を持つかを示した「カリキュラム・マップ」を作成し、科目選択の参考となるようにします。

人間と文化 25科目	人間と社会 27科目	人間と自然 22科目	リベラルアーツ・ゼミナー 9科目(再掲)
<b>《人間と歴史》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・哲学</li><li>・比較宗教学</li><li>・宗教と文化</li><li>・日本史</li><li>・東西文化交流史</li><li>・アジアの歴史と文化</li><li>・ヨーロッパの歴史と文化</li><li>・科学と思想</li></ul>	<b>《社会科学の基礎》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・人文地理学I</li><li>・人文地理学II</li><li>・社会学I</li><li>・社会学II</li><li>・政治学</li><li>・国際政治</li><li>・経済学入門</li></ul>	<b>《自然科学の基礎》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・物理学I</li><li>・化学概論I</li><li>・生物学概論I</li><li>・生物学概論II</li><li>・生命科学講話</li><li>・地球の科学</li></ul>	<b>リベラルアーツ・ゼミナー</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・感覚で探る問題解決の方法</li><li>・現代社会に学ぶ力書き方</li><li>・社会科学の学び方</li><li>・製品の機能から科学を学ぶ</li><li>・経営哲學(2回生以上)</li><li>・現代社会と映画製作</li><li>・アメリカと中国はいま</li><li>・現代社会と映画製作</li><li>・感覚の実践哲学</li></ul>
<b>《文化・芸術》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ラテン語</li><li>・西洋文化論</li><li>・日本文学I</li><li>・日本文学II</li><li>・日本近現代文学</li><li>・西洋文学論</li><li>・芸芸創作論</li><li>・美と芸術</li><li>・日本近代精神史</li></ul>	<b>《人間と社会・科学》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・現代の政治</li><li>・生活と経済</li><li>・心理学</li><li>・発達心理学</li><li>・現代社会と心</li><li>・現代社会とジェンダー</li><li>・人権教育</li><li>・現代教育論</li><li>・食環境をめぐる国際社会と日本</li><li>・環境と法</li></ul>	<b>《人間と自然・科学》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・人と自然と数学α</li><li>・人と自然と数学β</li><li>・人と自然と物理學</li><li>・生物学生物学の世界</li><li>・意味と知らない植物の世界</li><li>・科学史</li><li>・環境問題と持続可能な社会</li><li>・食と健康的な科学</li><li>・キャノン・スヘルス概論</li><li>・時間生物学特論(3回生以上)</li><li>・エネルギー科学</li><li>・現代科学と倫理</li></ul>	<b>《京都学》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・京都の歴史I</li><li>・京都の歴史II</li><li>・京都の文学I</li><li>・京都の文学II</li><li>・京の産業技術史</li><li>・現代京都論</li><li>・医史学</li></ul>
<b>《京都学Ⅱ》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・京都学事始</li><li>・近代京都と三大学</li><li>・京の産業技術史</li><li>・現代京都論</li><li>・医史学</li></ul>	<b>《京都学》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・京都の自然と森林</li><li>・京都の農林業</li><li>・リベラルアーツ・ゼミナー</li><li>・製品の機能から科学を学ぶ</li></ul>	<b>《京都学》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・現代京都論</li><li>・現代社会と映画製作</li><li>・社会科学の学び方</li><li>・現代社会と映画製作</li><li>・アメリカと中国はいま</li><li>・経営哲學(2回生以上)</li></ul>	<b>京都学</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・京都の歴史I</li><li>・京都の歴史II</li><li>・京都の文学I</li><li>・京の文政</li><li>・京都の学事始</li><li>・近代京都と三大学</li><li>・京の産業技術史</li><li>・現代京都論</li><li>・医史学</li><li>・京都の自然と森林</li><li>・京都の農林業</li><li>・英語で京都(3回生以上)</li></ul>
<b>《リベラルアーツ・ゼミナー》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・感覚で探る問題解決の方法</li><li>・現代社会に学ぶ力書き方</li><li>・社会科学の学び方</li><li>・現代社会と映画製作</li><li>・感覚の実践哲学</li></ul>			



### リベラルアーツ・ゼミナーにおける学生交流

#### ○少人数双方向型授業の充実

平成26年度より専門性の異なる三大学の学生が少人数で学ぶ「リベラルアーツ・ゼミナー」を開講しました。各大学10名の定員で、30名を上限とした双方向型授業を展開しています。例えば、元NHKアメリカ総局長による「アメリカと中国はいま」、寅さんシリーズの山田洋次監督と長年映画の仕事をしている教員による「現代社会と映画製作」など、個性的なゼミナーが用意されています。

#### ○学生との対話と適切な個別フィードバック

ゼミナールでは、三大学の学生が同じ教室に混在することで、多様な考え方を持った他者と対話する力を養います。授業アンケートにおいて「受講生や教員との議論を経験できた」「教員との双向のやりとりがあり、授業に参加しているという実感があった」という評価指標を設け、教育改善につなげています。



### 京都三大学交響樂團による演奏

教養教育共同化が始まる以前から、三大学の学生交流は進んでいます。三大学に京都三大学交響樂團が組織されており、大学の垣根を越えてサークル活動が行われています。京都三大学交響樂團は三大学それぞれの入学式・卒業式で演奏しています。

**京都三大学  
教養教育研究・推進機構**  
Institute of Liberal Arts and Sciences



#### 京都工芸繊維大学の概要

京都工芸繊維大学は、明治32年(1899年)に設立された京都蚕業講習所および明治35年(1902年)に設立された京都高等工芸学校に端を発する110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探求する独自の学風を築いてきました。現在は工芸学科の一部からなり、生物物質科学域、設計工学科、造形科学域からなっています。



#### 京都府立大学の概要

京都府立大学は、明治28年(1895年)に設立された京都府簡易農学校に端を発する。京都府簡易農学校は後に京都府立農林専門学校と改称された。昭和24年(1949年)4月に、京都府立農林専門学校と京都府立女子専門学校を前身として開設された西京大学が、昭和34年(1959年)に京都府立大学と改称して誕生した。現在は文学部、公共政策学部、生命環境学部の3学部11学科からなっています。



#### 京都府立医科大学の概要

京都府立医科大学は、明治5年(1872年)に、府民自らの寄付によって、京都東山の青蓮院に建設された療育院から誕生した日本最古の医科大学である。140年の歴史の中で培った「人間愛」「地域貢献」「国際的視野の涵養」という教育理念は今でも変わることなく引き継がれ、人々の健康に貢献する人材を育成し、全人的な医療を実践してきた。現在は、医学部医学科と医学部看護学科の1学部2学科からなっています。

【京都三大学教養教育研究・推進機構】 〒606-0823 京都市左京区下鴨木町1番5 教養教育共同化施設「稻盛記念会館」内  
TEL: 075-703-4925 FAX: 075-703-4979  
E-mail: kyouyou@kpu.ac.jp URL: http://kyoto3univ.jp/